

平成 21 年 7 月 16 日

アウトソーシング労働組合

労働組合の設立および電機連合への加盟のお知らせ

アウトソーシング労働組合は、組合員の結束と相互扶助の精神により組合員の労働条件を維持・改善し、経済的社会的地位の向上を図ることを目指し、また、労使対等の原則にたって、経営が民主的に行われるように努め、会社の健全な発展に役立つことを目的として、平成 21 年 4 月 18 日に 112 名の組合員を持って設立いたしました。また、民間大手の労働組合である電機連合の平成 21 年 7 月 9 日開催の第 57 回定期大会において、当労働組合の加盟が申請され、同日承認されましたのでお知らせいたします。

電機連合は、電機・電子・情報関連産業およびその関連産業の労働組合を結集した組織であり、1953 年の結成以来、半世紀の歴史を誇り、組合員 65 万人を擁する民間大手の産業別労働組合組織です。電機連合は「新しい豊かさに生きる、自分らしく働く、助け合いと連帯の社会をつくる」をメイン・テーマに、労働条件等の改善に取り組んでおります。その一貫として、働く者の視点に立った政策制度要求の実現を目的として、2 大政党制の実現に向け各種政治活動に取り組んでおります。平成 21 年 9 月の任期満了までに実施される第 45 回衆議院議員選挙においては、民主党現職 大畠章宏、民主党現職 平野博文、第 22 回参議院議員選挙においては、民主党現職 加藤としゆき、を電機連合の総力を終結して支援を行うことで、政権交代の実現を目指しております。

当労働組合は、業務請負を中心とした生産アウトソーシング事業を展開する株式会社アウトソーシングの社員をもって構成されております。派遣切りに代表される雇用問題等を改善するため、今回の電機連合の加盟を持って、民主党をはじめ、社会民主党、国民新党の野党 3 党が平成 21 年 6 月 23 日に発表した、日雇い派遣の禁止、製造業への派遣を原則禁止する等の労働者派遣法改正案を全面的に支援してまいります。当該法改正により、製造派遣に代わるメーカーの生産外部委託の手段として請負が注目されており、これは、会社が推進する「個人の付加価値と待遇のアップの追求を業績に結び付ける請負」の理念とも合致しております。

さらに、当労働組合は、適正な請負の確立のために電機連合組織内公認であります、民主党現職議員大畠章宏、平野博文、加藤としゆきを通して、積極的に提言を行うことで、組合員の雇用に関する「安心・安定・安全」を確立し、社会貢献を果たしてまいります。